

大同に就き舊習を去りて新制に據り茲に既設團體、大同團結を完成し打て之れを一丸となし日本海員組合を設立せんと欲し大正九年十二月三日及び四日の兩日に亘り神戸市湊町一丁目美術俱樂部に於て大同創立協議會を開催せるに當日參加したる團體名及び代表者氏名は左の如し

- 海員共同救濟會
 - 海員博濟會
 - 商船互友會代表
 - 船船火夫同盟會
 - 日本海員同盟友愛會代表の代理者
 - 海員協和會代表の代理者
 - 日本船員同志會
 - 海洋勞動相互會
 - 商船水夫正義會
 - 海員睦會代理
 - 水夫同志會
 - 機關員同盟會代表の代理
 - 扇港海員廣愛會
- 木村 松二
 - 三和 國章
 - 田口 源記
 - 岩崎 勝三郎
 - 醍醐 資祐
 - 宮崎 敬馬
 - 横山 孫作
 - 小林 巖三郎
 - 田口 源記
 - 福本 九平
 - 北野 勇吉
 - 福森 庄太郎
 - 宮崎 敬馬

日本海員交和俱樂部
 普通海員交友會
 海員自治會
 海員美濟會
 海友協會
 扇港船友會
 日本海員ホーム代理

普通海員若松同志會長崎海員同志會崎陽海員同志會の三團體は委任狀に依り代理鶴野隆一の二十三團體にして

此の協議會の第一日即ち三日午後一時開會出席者一同の協議に依り濱田國太郎氏を議長に龜井司氏を副議長に擧げ（考濱田國太郎氏は合同の發起者にして龜井司氏は海員間に於ける有力者として特に同氏の出席を煩したる次第なり）而して議事に移るや劈頭濱田議長より團體合同に關する説明及び横濱に於ける合同協議會の報告あり次で龜井副議長の挨拶あり續いて野中富士太郎氏（社団法人海員共同救濟會臨時事務員）より起草案の朗讀終り議長より新に組織する組合の骨子に付き種々協議を重ね起草案其の他の議事に關しては滿場異議なく可決したり

引續き合同の具體的條件を議する爲め既設團體の幹部及びゼノア會議出席者一行より創立實行委員